— _b				—	u. = + <i>i</i> -	\															ТÏ	
半成	23	年度		-			-ト		Ī	課名		· ±	企画	i課			.1.	企画		± 1116 \	No	1
施策体	本系	44 674			目(政策 0.757/2				ا بد		中項目		()			I_,		項目(争耒)		
207141		11 多村	表な働ぐ	、場(り催保 ———	;		2	穷倾	動環境	の向上				1	雇戶	书催 伪	の促	進			
事業	名	ふるさん	ヒ融資	事業	F																	
マケま	±	款	2		弁	総務費		:	項	1		総系	务管理 費	ŧ		目	9			企画	費	
予算費	€日	細目	3	地垣		Ě備資金	貸付事業	細	々目	1	地域絲	合整	備資金貨	首付事	業 :	会計	種別	_	般会	計		
事	務区	分(根:	処法令)		自治事	務	(I.)	予算	種別		継続			臨時	
1 PL	_An	1																				
		景(事業									対象·目							実施σ				
							山 法人定 利子															
め、st	金融金	機関と	共同し	てけ	地域振	長興に	資用の	創出	1、糸	圣済交	加果、官	了民	の連携	強化	書を	提出	する。	o				
する月 カと鬼	え間 味力	事業活 ある地	動を支 域づく	え援	し、も の推准	って ŧに寄	活及び与の振	地垣	えてっ 関す	k 一シ る効	シの向_ 果を期	ヒ等 待し	による ている	地域							まな資 よく、	
するカ	こめ	に、財	団法人	、地均	域総合	整備.	財市は	起債	です	資金を	調達し	- 、	利息の	75%	機関	等と	の協	調融資	資が 』	必要で	である	。貸
団の3	文援 子咨·	を得て 金の貸	氏間第 し付け	₹者₹	等に伊 終を写	ŧ給す ≧施し	る は き て 要額	通父に賃	ていていています。	兄の第	足の際	計に 各は	基準財 財団法	政需 人地	付り の20g	能額 %以	lは、 内で	り億円 ある。	以以	入に	借人	総額
いる。		, ,			,,,,						通じて											
1																						
			;	活動	指標									成果	指標						成果排	指 揮
世山中	ロミ火ル	- +4-4- 7	*帝レコナ	>+++=	-					급류 257	经 四五二	田1-	古业ナル	业 ﴿≠ ι	T1 > 7	古山	*~=				の到達	達度
貞1寸和	日畝(i	こ対する	通りる	と対り	ن 						1友、順記 	向 (こ・	事業を終	杢 続し <u></u> -	<u> </u>	o 事 き 	ド のぎ	<u> </u>			(B/	A)
	目标	票値(単	位)			実績	値(単位	()			目標	直A(単位)			実績	漬値B	(単位	<u>ኒ</u>)		10	n
		コに融資 く、目標				生)				1件					1件						10	U
困難で			色の設。	足は	0 (1	т/				' IT					יוד							%
2 D	<u> </u>																					
		歳出			予算	現額(円) %	夬算?	額(P])			歳入				予算理	見額(円)	決	算額(円)
					<u> </u>								庫支上		()						
支出											財の源割	_	支 出		()						
内											内合	坦		債	()						
訳					 						訳〜	-7	: の 般 財	他	()						
	4	音 音	+				0			0			合	計	(,			0			0
						Net / I			# / 5					п					U			0
人	件	費	概	軍	人工	数(人	-	人件:	費(P													
	IE (217					0.05		302	,050												
3 CH	1EC	jΚ		必	西	·性	+		5	加	性		対	,	率	性		成 甲	i ti	堙 の	達瓦	t ne
事務署	事業	の評価			要				有	効				<u> </u>	<u> </u>							
				A y	必要性	が高い	١	/	4 有	効性:	が高い		Α	効率	性が	高い		A E	=標ど	おり達	成してし	いる
4 A(CTI	ON																				
			課	L •/ :	- let	.,, -	題			the -		٠, ٠ - ٠	改		,,,	善	•	ы эь		策	٠١١٠ -	
		市が積極 場合に遊					のではな 。	いか	、融	資の希			事務費等 費用の間				の人	件費の	み必	要な	事業で	ある。
また、ī	市だい	けで完結	する事	業で	はない	ため、	地域総合 Eがある。	整備	財団	との選		•				-						
/ 마 곤 꼬	1-04	チル・シ、バ	⊡ 9J1⊂∃	F177	2×± C 1	1 7203	ξ11.00.00°															
事	業	ص ص	方	向	性	(–	次	評	価)	事	業	 の	方	向	性	(=	次	評	価)
-				_	<u></u>	•	<u>へ</u> かることか			,	7	<u></u>						<u>ー</u> 進める				,
Α			#1 2	_ 00	· · · · ·						A			нін			-i- C - /					
		融資を実	淫行し、	適正(に事業	が継続	されてい	る。			'	•										
	即	係法令	山陽	小野	湯田市∜	也域終	合整備資	3 余1	学付:	要綱												
その他							,000千円		٠, ١٦.	→ 111 ⁴⁵												
	_																					

TU HE O	っケー	車 数 i	⋿ ⋇ ⋽⋶⋒			田夕		五二		Ι,	东工兴脉 5		(禄式2 No 1
干成乙	3年及		事業評価シート ^{項目(政策)}		i I	課名	中項目(商工労働課			萄工労働係 <mark>○項目(基本</mark>		
施策体系	系 11 多		場の確保		2 労債		の向上		1 J		マロ (全年	· - · · · ·	
事業名	雇用確	保促進	事業										
	款	7	商工費		項	1		商工費	目	2	₽ <u>E</u>	有工振	興費
予算費目	細目	1	 商工振興費		細々目	1		商工振興費	会	計種別	一般会	<u></u> 計	
事務		拠法令)	自治事務	 茶	(<u> </u>	Ţ)	予算種	別	継続		 経常
1 PL/		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			•			•	, ,, ,,	.,,,,	12.120		12.11
		美が始ま	った経緯、現況)		事業の	内容(対象·目	的·意図)		事業	実施の手具	没·手	順
			者を対象とし					D整備によって					
			融資を整備する 者等の経営の安							開催、	保証料補	給、:	金融機関預
定を図			骨の活性化を図	を図る	5 。				【市長				る市内企業
る。	企業計 問	1 + 4	の雇用確保は、					訪問を推進して 予定者だけでな					
市活性	化の最重	点課題	であり、関係機	く高さ	年齢者や	ゆ障が	い者の	アを目だけでなり	高齢者	を 開催 、 障が	い者等の	を1」 雇用値	り。また、 准保に努め
	携の上、	積極的	な雇用確保に努	果を国	図ること	がで	きる。		る。				
める。													
		活	動指標					成果	指標				成果指標
市長企業	業訪問数					年度	末字部:	管内有効求人倍3	<u>-</u> -				の到達度
III KILS	* I/J I ⊔J XX					十汉	사기마		Τ				(B/A)
E	目標値(単	位)	実績値	[(単位)		目標値	直A(単位)	5	実績値E	8(単位)		
でキスナ	ごけ多く訪	: 胆	9社						0.76				
C-013	二(7)多(司)] [□]	911						0.70				%
2 DO													
	歳出		予算現額(円)	₽算額(F	9)		歳入		予算:	現額(円)	決	算額(円)
								国庫支出金	()				
支							財介	県支出金	()				
出内							源割内合	地 方 債	()				
訳							訳し	その他	()				
								一般財源	()				
	合 i	†		0		0		合 計			0		C
	/	low to	人工数(人役) /	、件費(F	9)							
人	件費	概算	C).1	604	,100							
3 CHI	ECK												
		业	要 性		有	効	性	効	率	性	成果指	標 0) 達成度
事務事	業の評価	_	必要性が高い		^ =	六小什 -	が高い	A 効率	州が古	1.			いまいである
		А	必安はが同い		A 15	I XJI I I	0,回6,	A 効率	ほり,回	ι,	又は実績化	直を把	握していない
4 AC	TION												
7 ± € △ •	₩ = 1 88 4	課	是	良			/±=	改		善		策	
	の求人確保		間に企業訪問を実施	色してい	るが、日	程調整		企業訪問 <mark>】</mark> F度は企業訪問数を	従来の	4社から	9社に増や	した。	
等の関係	くから訪問1	È業数が[限られてくる。										
事	業の	方 向	1 休 (' /ኮ	並 / #)	事	業の方	Б ,	# /	- \h	≣π	(布)
尹			,		評価	K N =	<u> </u>				ニーク	評 きせる	(本)
Б	争耒の	天 肔力法	やコスト等について	以苦?	の快討	か 必 安		事業の実施ス	」法へご	スト寺に	- つい (改	当り る	快引か必要
В	当面は現	見在の施設	策を推進していく。				В	•					
	生	関係の3	予算は12・2・2で計	- -									
			ァ昇は12・2・2 で記 予算は人件費のみ										
			目標値設定は困		る。								

															(様式2)
平成23	3年度				•		果名		商工労	働課			工労働係		No 1
施策体系		J	項目	目(政策)				中項目(施策)			小耳	頁目(基本	事業)	
池来冲示	11 多村	様な働く	場の	D確保		2 労働	動環境	の向上			2	業能力	の開発向	上	
事業名	雇用能	力開务	養	援センター維持	持業務	务									
マ労弗ロ	款	5		労働費		項	1		労働諸費		目	1	9	労働諸	費
予算費目	細目	7	雇用能	と力開発支援センター管理	運営事業	細々目	1	雇用能力	開発支援センター管	理運営事業	会記	十種別	一般会	計	
事務区	区分(根据	処法令)	自治事務	5	() =	予算種類	<mark>別</mark>	継続	E	临時
1 PLA															
				<mark>≿経緯、現況)</mark> 埬校として設					<mark>的・意図)</mark> 佐むにも	ハナ H	中 幸 訓 4		施の手段		
立発の労種しいる機能を連続の対域を対している。	そらし協を訓杯という。	平れとととている。 でんぱい しんしん いいしん いいしん いいしん いいしん かいしん かん	5年(年成 1:。業 3: 3: 3: 3: 4: 5: 5: 7: 8: 8: 8: 8: 8: 8: 8: 8: 8: 8: 8: 8: 8:	に開市県各厳、嵩 18年4世 18年4機情い 18年は機等の 18年は 18年は 18年は 18年は 18年は 18年は 18年は 18年は	職業を受ける。	訓練機関 講する。 限りの職	闘等が 市は 戦業訓	実施を :施設管 練のた	とする職業 管理者とし	訓練で					
		;	活動	 指標						成果指	 f標				+ 用 +比+需
年間施設	使用日数			74.00			年間	延べ利		77777	- 177			σ	找果指標 Ͻ到達度 (Β/Α)
目	標値(単	位)		実績値	(単位)		目標信	直A(単位)			₹績値B((単位)		0.4.5
	250			2.	16			1	5000			1417	12		94.5
	230			2.	+0			'				1417			%
2 DO															
	the sales						- \								
原用	歳出	·/a	20年	予算現額(円 6.741.27		<mark>と算額(P</mark>			歳入		()	予算現	額(円)	決算	額(円)
	歳出	ンター管理道	重営費	予算現額(円 6,741,37		<mark>·算額(P</mark> 6,403		財介	国庫支出	金	()	予算現	額(円)	決算	額(円)
支出		ンター管理選	運営費					財源の		金 金	()	予算現	額(円)	決算	額(円)
支		ンター管理道	置営費						国庫支出県支出地 方	金 金	()		·,164,000		額(円) 4,740,169
支出内	能力開発支援セ		至 営費					源割 内合	国庫支出県支出地 方	金 金 債 他	()	5			
支出内訳			聖営費		76		,528	源割 内合	国庫支出 県支出 地 方 そ の 一般財	金 金 債 他	() (74)	5	,164,000		4,740,169
支出内訳	能力開発支援セン	<u> </u>		6,741,37	76	6,403	,528	源割 内合	国庫支出 県支出 地 方 そ の 一般財	金债他源	() (74)	5	,164,000 ,577,376		4,740,169 1,663,359
支出内訳	合言			6,741,37 6,741,37 人工数(人役	76	6,403 6,403 (件費(P	,528	源割 内合	国庫支出 県支出 地 方 そ の 一般財	金债他源	() (74)	5	,164,000 ,577,376		4,740,169 1,663,359
支 出 内 引 CHE	A CK	概		6,741,37 6,741,37 人工数(人役	76 76	6,403 6,403 (件費(P	,528 ,528 ,528	源割 内合	国庫支出 県支出 地 方 そ の 一般財	金 债 他 源	() () (74) (26)	5 1 6	,164,000 ,577,376		4,740,169 1,663,359 <mark>6,403,528</mark>
支出内訳 人 件 3 CHE 事務事業	合 宇 費 CK	概。第		6,741,37 6,741,33 人工数(人役 0	76 76 .1	6,403 6,403 件費(P 604	,528 ,528 3) ,100	源割合〉	国庫支出地方での一般財合	会 金 信 他 源 計 ·	() () (74) (26)	5 1 6	5,164,000 ,577,376 5,741,376	標の :	4,740,169 1,663,359 6,403,528 達成度
支 出 内 記 人 名 CHE	合 宇 費 CK	概 第		6,741,37 6,741,37 人工数(人役 0 要 性 少要性がある	76 76 .1	6,403 6,403 件費(P 604	,528 ,528 3) ,100	源割合〉	国庫支出 地 方 一般財 合	会 金 信 他 源 計 ·	() () (74) (26)	5 1 6	i,164,000 ,577,376 i,741,376 成果指 B 概ね目	標の環	4,740,169 1,663,359 6,403,528 達成度
支出内訳 人 作 3 CHE 事務事業 4 ACT	合 音 CK Eの評価	概	D B 业	6,741,37 6,741,37 人工数(人役 の 要 性 必要性がある	76)	6,403 6,403 件費(P 604 有 B 有効	,528 ,528 ,528 引) ,100 効 性が認	原割合ン性という。	国庫支出 県支出 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	金債他源計率性が	() () (74) (26)	5 1 6 *** れる	i,164,000 ,577,376 i,741,376 成果指 B 概ね目	標の環を達成	4,740,169 1,663,359 <mark>6,403,528</mark> 達成度
支出内訳 人 4 ACT 施設題が、 を構成して からして からり からり <td< td=""><td>合 は の評価 ION がを。られ可に からこれ可に からこれ可に がもこれ可に がもこれ可に がもこれ可に がもこれ可に がらこれで がられで がらこれで がらに がらに がらに がらに がらに がらに がらに がらに</td><td>課 で 戦かる 記念 かいまた で は で は かい かい</td><td>ション B が ために正 が ために正 が は 正 かん は 正 かん に かん</td><td>6,741,37 6,741,37 人工数(人役 0 要 性 少要性がある</td><td>76 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /</td><td>6,403 6,403 件費(P 604 有 B 有効が まする設備 る。また、</td><td>,528 ,528 ,528 ,100 対 大保該 がも当当</td><td>源内訳 性 めら 施を密で は た に い に に い に に る い り に り に り に り に り に り に り に り に り に り</td><td>国 庫 支 出</td><td>金 債 値 源 計 率 本 サーク を たな と たな と</td></td<> <td>() (74) (26) ないでは、 ないでは、 はいでは、 もいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 も。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっと。 も。 もっと。 もっと</td> <td>5 1 6 れる</td> <td>,164,000 ,577,376 ,741,376 成果指 B 概ね目</td> <td>標の環で達成を達成している。</td> <td>4,740,169 1,663,359 6,403,528 達成度 はしている</td>	合 は の評価 ION がを。られ可に からこれ可に からこれ可に がもこれ可に がもこれ可に がもこれ可に がもこれ可に がらこれで がられで がらこれで がらに がらに がらに がらに がらに がらに がらに がらに	課 で 戦かる 記念 かいまた で は で は かい	ション B が ために正 が ために正 が は 正 かん は 正 かん に かん	6,741,37 6,741,37 人工数(人役 0 要 性 少要性がある	76 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	6,403 6,403 件費(P 604 有 B 有効が まする設備 る。また、	,528 ,528 ,528 ,100 対 大保該 がも当当	源内訳 性 めら 施を密で は た に い に に い に に る い り に り に り に り に り に り に り に り に り に り	国 庫 支 出	金 債 値 源 計 率 本 サーク を たな と たな と	() (74) (26) ないでは、 ないでは、 はいでは、 もいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 も。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっと。 も。 もっと。 もっと	5 1 6 れる	,164,000 ,577,376 ,741,376 成果指 B 概ね目	標の環で達成を達成している。	4,740,169 1,663,359 6,403,528 達成度 はしている
支出内訳 A 3 CHE 事務 4 ACT 施なし設が 施なし設が がある。 A A A A A A A A A A A A A	合	課い業が第一の報告では、「大学の関係を対する。」では、「大学のでは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、」」」」」 「「ないれば、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、「ないは、これ」」」」 「「ないれば、「ないは、「ないは、「ないは、これ」」」」 「「ないれば、「ないは、これ」」」」」 「「ないれば、「ないは、これ」」」」」 「「ないれば、これ」」」」 「「ないれば、これ」」」」 「「ないれば、これ」」」」」 「「ないれば、これ」」」」 「「ないれば、これ」」」」 「「ないれば、これ」」」」 「「ないれば、これ」」」」 「「ないれ」」」」」 「「ないれ」」」」」 「「ないれ」」」」」 「「ないれ」」」」」 「「ないれ」」」」 「「ないれ」」」 「ないれ」」 「ないれ」 「ないれ」」 「ないれ」	シント は は は は い は い は い は い う こ う ろ り う り う り う り う り う り う り う り う り う	6,741,37 6,741,37 人工数(人役 0 要性がある 施設を適切に終 このででである。 を必要性がある。 を認要をはなりによっている。 では、一	76 /	6,403 6,403 休費(P 604 有 B 有効が ますみ設は、 まず殊またう。 評 価	,528 ,528 ,528 ,100 対 大保該要 がも当必	源内訳 性 めら 施を密て 事	国 庫 支 出	金債他源計率性がをおいる。	() (74) (26) ないでは、 ないでは、 はいでは、 もいでは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとは、 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 も。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっとも。 もっと。 も。 もっと。 もっと	5 1 6 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** *	,164,000 ,577,376 ,741,376 成果指 B 概ね目	標の成果を達理技術を達理技術	4,740,169 1,663,359 6,403,528 達成度 はしている
支出内訳 A B A A A A A A A A A A A	合 書	課に職全貸 方 方 下 施	シ B た練適務 可 去や	6,741,37 6,741,37 人工数(人役 0 要性がある と変性がある が変性がある に必要性がある に必要性がある を適切に能 に必要ではなりし一必要であるため、市が 性 (ー コスト等について	76	6,403 6,403 件費(P 604 有 B 有効が ますみまたう。 業を行う。	,528 ,528 ,100 対 大保該要 がも当必 が必要	源内訳 性 め 施 を い 事	国庫支出 地 そ の 一 般 財 合	金 金 債 他 京 大 本 サ 大なむ。 たなむ。	() (74) (26) (26) 常駐させ 推持管理	5 1 6 *** *** *** *** *** *** *** *** ***	成果指 B 概ね目 引き続き る。また、	標でを選びている。	4,740,169 1,663,359 6,403,528 遠している との連携 な修繕につ
支出内訳 A 3 CHE 事務 4 ACT 施なし設が 施なし設が が が が が が が が が が が が が	合 書	世で職会賞 大きないで、 で職会賞 大きないで、 、 大きないで、 、 大きないで、 、 大きないで、 、 はないで、 、 はないで、 はないで、 はないで、 はないで、 はないで、 はないで、 はなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	ション B た練適務 可去機構	6,741,37 6,741,37 人工数(人役 0 要性がある 施設を適切に終 このででである。 を必要性がある。 を認要をはなりによっている。 では、一	76	6,403 6,403 件費(P 604 有 B 有効 型す殊ま行う。 評価 よ業を行う。	,528 ,528 ,528 ,528 ,100 対 がも当必 がを がを がを がを がを がを がを がを がを がを	源内訳 性 ら 施をい 事 B	国庫支出 地 そ の 一 般 財 合	金 金 債 他 京 大 本 サ 大なむ。 たなむ。	() (74) (26) (26) 常駐させ 推持管理	5 1 6 *** *** *** *** *** *** *** *** ***	成果指 B 概ね目 引き続き る。また、	標でを選びている。	4,740,169 1,663,359 6,403,528 達成度 はしている しとの連携 な修繕につ

365

その他 平成16年2月23日に締結した雇用・能力開発機構所有財産売買契約により平成26年2月まで公用等用途使用の特約有

													(1)	氷エして
平成23	年度	事務	事業評価シート		語	果名	商工労	働課		商	工労働係	į N	О	1
		大	:項目(政策)			中	項目(施策)			小耳	再目(基本	事業)		
施策体系	11 多村	様な働く	場の確保	2	労偅	カ環境 <i>₫</i>)向上		3 京	尤業対策	の充実			
事業名	就業対	策の促	!進事業											
予算費目	款	5	労働費	項 1 労働諸費				目	1		労働諸費	į		
了异页口	細目	2	労働諸費	細/	マ目	1	労働諸費		会詢	計種別	一般会	計		
事務区	分(根据	処法令)	自治事務	()	予算種!	<mark>別</mark>	迷続	経	常	
1 PLAI	PLAN													
車業の地	と見(車業	よぶん士	った奴婦 耳にし	中书	±	b cox (ઇ년	色.口的.辛回\			申希中	佐の手に	几工厂		

近年の経済のグローバル化とともに、 国際的レベルで激しいコスト競争が展のある若者、女性、高齢者、障がい者 開され、従来の労働法による規制が撤口就業の促進を図る。 廃・緩和された結果、正規雇用と非正 規雇用という雇用の2極化が進むとい う不安定な雇用環境が生まれている。 このような雇用環境に対応するため、 多様な正規雇用の場を創出するととも に、中小企業事業者への雇用確保の支 援が求められている。

事業の推進により、少しでも働く意志

広域の会議で推進する若者サポートス テーション事業も支援するうえで、若 者の就業促進を図る。女性・高齢者・ 障がい者の雇用促進においても、国・ 県との連携を図りながら、事業の推進 を図る。また、労働基準監督署・公共 職業安定所の再編に係る代替措置とし て、国と市との協働事業による地域職 業相談室を開設する。市が施設提供及 び維持管理を行い、国が相談員を派遣

予算現額(円) 決算額(円)

				9 % 。	
活動	指標		成果	指標	成果指標
市長企業訪問数			宇部管内有効求人倍率		の到達度 (B/A)
目標値(単位)	実績値	(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
できるだけ多く訪問	9社			0.76	%

2 DO

	歳出	予算現額(円)	決算額(円)
	通信運搬費	288,000	215,288
支			
支出内訳			
訳			
	合 計	288,000	215,288
-			

	国庫支出金	()		
財介	県 支 出 金	()		
源割内合	地 方 債	()		
訳し	その他	()		
	一般財源	(100)	288,000	215,288
	合 計	·	288,000	215,288

歳入

人工数(人役) 人件費(円) 人 件 費 概 算 0.1 604,100

3 CHECK

	必 要 性	有 効 性	効 率 性	成果指標の達成度
事務事業の評価	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	D 数値設定があいまいである 又は実績値を把握していない

4 ACTION

В

			課				;	題						改			善				策		
国や県と	こしいだ	いに連	携を	図り事	事業を	推進	して	いくか	が課	題とな	;る 。	地域職 H23 ^全 た。 今後は	F度(ま市長	の企	業訪	問数	を従	来の			社には	曽やし
事	業	の	方	向	性	(_	次	評	価)	事	業	の	方	向	性	(=	次	評	価)
	胃	業の	実施ス	方法や	コスト	等に	つい	て改割	善する	検討な	が必要			事業の	実施	方法や	ウコスト	-等に	つい	て改割	善する	検討な	が必要

В

市長企業訪問の予算は人件費のみ。 その他

成果指標における目標値設定は困難である。

がら、現在の市長訪問等を継続していく。

今後は副市長や部長による企業訪問も視野に入れな

													(↑?	求工【乙)
平成23	年度	事務署	事業評価シート		部	果名	商工労働課			商	工労働係	ξ N	lo	1
		大	項目(政策)			中	項目(施策)			小耳	再目(基本	事業)		
施策体系	11 多村	様な働く	場の確保	2	労偅	遺環境の	向上	4	勤党	6者福	祉の推進			
事業名	業名中小企業勤労者共済制度の普及促進事業													
予算費目	款	5	労働費	Į	頁	1	労働諸費	E		1	:	労働諸費	Ì	
了异貝口	細目	2	労働諸費	細	マ目	1	労働諸費	ź	会計和	種別	一般会	計		
事務区	分(根据	処法令)	自治事務	()	予算和	重別	糸	迷続	経	常	
1 PLAI	PLAN													

事業の背景(事業が始まった経緯、現況) 【勤労福祉共済会補助金】中小企業に中小企業の勤労者の福祉の増進を図る おける未組織の勤労者の福祉増進を支ことにより、雇用の安定にも繋がり、 援するため、当該勤労者で組織する勤中小企業の発展を促すことにもなる。 労福祉共済会の一部運営支援を行う。

【中小企業退職金共済掛金事業主負担 補助金】中小企業事業主の行う退職金 掛金の一部支援を行う。

【優良勤労者表彰事業】成績優秀な勤 労者を表彰し、地域産業の発展に貢献 した人たちの功績を称える。

事業の内容(対象・目的・意図)

【勤労福祉共済会補助金】

県との連携を図る中で共済会へ補助金交付を行う とにより、勤労者の福祉の増進を図る。

事業実施の手段・手順

【中小企業退職金共済掛金事業主負担補助金】 中小企業事業主へ負担補助を行うことにより、退職 金制度を持たない中小企業の従業員の福祉の増進を

した者、顕著な技術開発等により事業所の発展に寄 与した者、農林水産業に専業として25年以上従事し た者、勤労生徒等、成績優秀な勤労者を表彰する。

活動	指標	成果	指標	成果指標
勤労福祉共済会加入促進の	ための訪問事業所数	勤労福祉共済会加入者数		の到達度 (B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標值A(単位)	実績値B(単位)	67.5
50事業所	44事業所	1000	675	
				%

2 DO

歳出	予算現額(円)	決算額(円)
勤労福祉共済会補助金	162,000	162,000
中小企業退職金共済掛金補助金	900,000	781,650
優良勤労者表彰	196,000	124,907
合 計	1,258,000	1,068,557
	^{中小企業退職金共済掛金補助金} 憂良勤労者表彰	助労福祉共済会補助金 162,000 P小企業退職金共済掛金補助金 900,000 憂良勤労者表彰 196,000

ı	胜	弗	加工	笪	人工数(人役)	人件費(円)
人	ΊΤ	貝	恢	기	0.25	1,510,250

	歳入		予算現額(円)	決算額(円)
	国庫支出金	()		
財へ	県 支 出 金	()		
源割内合	地 方 債	()		
訳し	その他	()		
	一般財源	(100)	1,258,000	1,068,557
	合 計		1,258,000	1,068,557

3 CHECK

	必	要 性	有 効 性	効 率 性	成果指標の達成度
事務事業の評価	A 必§	要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

勤労福祉共済会加入者数は、H18年度1,001人、H19年度1,002 人、H20年度894人、H21年度829人、H22年度748人、H23年度 の加入促進強化月間において、56事業所を訪問し加入及び増口の勧 675人と減少傾向にあり、今後の利用促進が課題となっている。 - 方中小企業退職金共済金加入補助事業所数は、H18年度57事業 所、H19年度59事業所、H20年度58事業所、H21年度51事業所、

H22年度53事業所、H23年度50事業所と横ばいの状況である。

題

勤労福祉共済会事業においては、平成22年10月から平成23年3月 誘を行った。また、新規に市ホームページにおいて制度の紹介及び山口県勤労福祉共済会のホームページへのリンクを掲載した。

L	事	業	の	方	向	性	(_	次	評	価)	事	業	の	方	向	性	(=	次	評	価)
				計	画どま	さり事			ること							計					ること			
	Α		引き続:	き制度	の普	及活重	かに 多	そめな	がらヨ	見在の	施策	を推進	A											

その他

																						(:	様式2)
平成	23	年度	事務	事為	美評値	西シー	_			果名			商工	労働	課			商	工労	働係		No	2
			J	「項目](政領	(表)					中項目(施第	(表)					小	項目(基本	事業)		
施策值	本系	11 多	様な働く	場₫)確保			2	労偅	动環境	の向上					4	動労	者福	祉の	推進			
事業	名	労働者	団体を	を援	事業																		
		款	5		ě	労働費		IJ	頁	1		労	働諸	費		目		1		į	労働	者費	
予算	費目	細目	2		労	働諸費		細点	目 対	1		労	働諸	書			計種	別	<u> </u>	般会	計		
重	終 区	分 (根:	加法令)		自治事	<u></u>	(- 1>)	子	算種			継続			経常	
1 PI			K-/A 13	,		□ /□ + 1	<i>,</i> ,	`							,	71 14	. 73-3		196			47.113	
		•	きが始ま	Eった	-経緯	、現況)		事業	<u></u> € Ø Γ	力容(:	対象・目	的	- 章図)			事	工業 主	≧施 σ)手段	设•手.	順	
勤労	者の	労働福	祉の向]上 ?	を図る	るため、		者の	福祉	上向上	を図る	₅ こ	とに	より、			の週	国営約	圣費(カーき	部に対	付する	i補助
						団体の支 D福利厚		の安に	定確	保を[図るこ	とカ	バでき	る。		交付 向上				こより	り、	助労者	ずの福
		と行う。		主力 フ	7190	ノ作田でリア	1								TIL	1-1]	~ E	^ୟ ୬ °					
"		, , , ,																					
	活動指標															堙							ᄮᄺ
			•	口刧	1日1ホ									190	火 111.	小不						成果の到	
設定力	が困難	誰								設定:	が困難											(B/	
	目相	票値(単	位)			実績値	道(単位)			目標	直A(単位)			実績	値B	(単位	<u>ነ</u>)			
			··					•					· · · · · ·	·									
																							%
2 D																							90
		歳出			予質	現額(円	1) 3	字算客	百(圧	1)			台	入			子) 首 荘	1額(田)	油	算額(田)
	まる	分子	·拉議会補	助全	J' JI	135,0			135.			国		:出金	<u>}</u> ()	+	开り	「口只(1 1/	八	开识(.1 1/
支		福祉対				-	-				財へ			出金)	+						
出		企業福祉				486,0	1,000 1,9			000	源割		<u>、 </u>		()	_						
内訳	上(1)	正未抽扣	于木門	刘亚		400,0	-		400,	000	内合訳〉		- σ.		(1						
八											一の			財源	_	100)	+	-	2,555	በበበ		2 55	55,000
	-	合 :	+			2,555,0	00	2	555,	000			合	計		100)			2,555				55,000
		- "												н					-,000	,000		2,00	0,000
人	件	費	概	軍	人工	数(人役		、件書															
		214				•	0.1		604,	100													
3 C	HE	<u>ال</u>		Si		J.d.			_	41	J.t.L			± 1	-		Lu			3 JF.	1 = -	\± .	* +
主	車業	の評価		必	要	性		≠	1	効	性			効	率		性					達 /	
7717	尹木			A 业	必要性	が高い		Α	有	効性が	が高い			A 効	率性	が高	い					いまい [.] 屋してし	
4 A	CTI	ON																					
	<u> </u>	011	課			Ē	頁						i	改			善善			4			
			数は、は			れている	。 。地区党														-15		
会は、	総会	・駅伝・メ	゚゚゚゚゚゠デー ヸ゠ <i>゚</i> ゠゠	・ボラ	ンティ	′ア活動等 −ン作戦等	を、労働	動福神	业对领	策費で	5												
						プルサス																	
事業の方向性(一次評価) 事業の方向性(二次評													証	価)								
7						<u>`</u> 等につい									, <u>'</u>		_						,
В		予末の	大心儿!	Д (°.	-/\r	41C 761	(以音)	7 W 15	ベロリん	心女	Α			Ē	11四0	_ 03%	, T 3	× د با	= 476	<u> </u>	77.10	-	
	'	当面は現	見在の旅	重策を	推進し	していく。					^	١											
											1												
その化	也																						

								_													(₹	羕式2
平成2	23 [±]	F.度			業評信 目(政策		-ト	Ш	Ī	果名	中項目(商工労	働課	-			項目			No	3
施策体	系.	1 多村	まな働く					2	労働		の向上)		4	勤党	一 <u>小</u> 労者福					
事業名	名 含	労働福	祉金融	独制	度事	業																
マ佐井		款	5		Š	労働費	•		項	1		労	動諸費			Ħ	1		Ś	労働評	者費	
予算費		細目	1		労	'働諸	貴	細	々目	1		労信	動諸費		1	会計	種別	_	般会	計		
事務	多区分	〉 (根	拠法令)		自治導	事務	()	予算	種別		継続			経常	
1 PL		2/重装	と もミカム =	±~+	上奴结	18:0	1)	車も	<u></u>	力	計	16/1-	辛回)				車業。	主体 (カギビ	J. 千 II	百	
事業の背景(事業が始まった経緯、現況) 事業の内容(対象・目中小企業の勤労者の生活の安定と福祉 貸付制度の充実を図るこの向上を図るため、県、金融機関と連業勤労者の生活安定と福携し、一定の資金の貸付等を行う。また、当該制度の啓発に努める。														を図	付※1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	貸行類コ付コ度付うの果制県	制度。 • 市l • 市l	に協! 町中! 町離!	調し、 小企 職者!	業勤労 緊急対		口資金貸
			;	活動	指標							成果	指標						成果技	岩煙		
設定が	困難									H22	22年度中小企業勤労者小口資金貸付										の到近の日	主度
	目標	値(単	位)			実績	値(単位	<u>(</u>)			目標	直A(i	単位)			実績	責値B	(単位	ቷ)			
																	OF	9				%
2 DC)																					
		歳出	r ^		予算	現額(夬算?	額(円				歳入			-	予算基	見額(円)	決	算額(円)
支		預訊	金			1,000	0,000		165	,000	財へ		車 支 出		•)						
出内											源割 内合	地		債	()						
訳											訳し	そ		他	(100	-		1,000	,000		16	5,000
	合	· =	+			1 000	0,000		165	,000			般 財 合	油計	()		1,000	000		16	5,000
					λT	.数(人		人件	費(円				<u>н</u>	н				1,000	,000		10	0,000
人	件	費	概	拿	<u> </u>	· XX \ / \	0.1	X11 .		,100												
3 CH	<u>IEC</u>	K		必	要	ıl·	生		有	効	性		効	-	率	性		ct; =	8 七	= の	達瓦	比在
事務事	業0	評価			必要性						が高い			効率	•			D 数	値設定	こ があし	ルまいて 配してい	である
4 AC	TIC	N																				
件)、H2 の貸付	20年 残額(度末の は小口:	貸付残 910千l	額は 円(1	、小口 件)、H	1,649 122年	題 (7件)・ 9千円(5년 度末の貸 小口335	牛)、I [付残	H21: 額は	年度末 :小口4	₹ 1	·····································	改 関と連拍	隽し制力	度の普	善 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	•	5 .	:	策		
事業の方向性(一次評価) 事業の方向性(二次評価))								
В	 県	や金剛		:連抄			<mark>いて改善</mark> 及に努め							計画	画どお	り事	業を	進める	ること	が適 s	当	
その他	1 活動	動指標	及び成	果指	旨標に	おける	目標値記	ひ定(ま困事	難であ	<u>I</u> る。											

平成23	3年度	事務事	事業評価シート		課名		商	工労働課			工労働係		No 4	
+	-	大	項目(政策)		E	中項目(施策)			小	項目(基本	事業)		
施策体系	11 多村	様な働く ^は	場の確保	2 労	働環境	の向上			4 勤	力労者福	祉の推進			
事業名	労働福	祉施設	の利用促進事業	Į.										
マ質弗口	款	5	労働費	項	1		労働詞	者費	目	1		労働詞	者費	
予算費目	細目	2	労働諸費	細々目	1		労働詞	者費	会言	计種別	一般会	計		
事務區	区分(根	処法令)	自治事務	5 ()	予算種類	<mark>别</mark>	継続		経常	
1 PLA	N		•											
			った経緯、現況)				的·意		412 A.L. 1/1/ =		に施の手具			
労働会館運営事業 健全な勤労文化の高揚を図り、広く市 民の福祉増進に資することを目的とし て、昭和56年に開館し、多くの市民 に利用されている。一方で、施設・設 備の老朽化により維持管理経費が嵩ん でいる。														
		活	動指標					成果	指標				成果指標	
設定が困	到難				年間和	利用者	数						の到達度 (B/A)	
E	標値(単	位)	実績値	(単位)		目標値	ēA(単位	立)	美	€績値B	(単位)			
						4-7	044			40774			96.7	
						17	344人			16779	9人		9	
2 DO														
	歳出		予算現額(円	決算額(円)		j	歳入		予算理	親額(円)	決	算額(円)	
	労働会館	運営費	6,715,52	6,68	3,470			支出金	()					
支出 —						財介源割		出金	()					
内						内合		方債	()					
訳—						訳〜		の他財源	(24)		1,721,000 4,994,525		1,612,66 5,075,81	
	合 言	+	6,715,52	5 669	3,470		— _版	計	(76)		6,715,525		6,688,47	
		<u> </u>						п		`	3,710,020		0,000,47	
人作	牛 費	概算	人工数(人役											
3 CHE	CK		0.1	5 90	6,150									
	-	业	要 性	有	効	性		効	率性	ŧ	成果指	標の	達成度	
事務事業	業の評価	А	必要性が高い	A 4	対性が	が高い		A 効率	性が高い	۸,	B 概ね目	標を達	成している	
4 ACT	TON													
en en en e		課	超			16	\-de · · ·	改		善		策		
	53人、H2		04人、H20年度が 15, 734人、H23 ^g								スホール	のスポ	一ツ使用は	
事	業の	方 向] 性 (-	次 評 価)	事	業	の方	向 性	Ė (二次	評	価)	
		計画と	おり事業を進める	ことが適当				計[画どおり	事業を達	進めること	が適	当	
Α	施設の過	適正管理()施策を推進し ⁻	ていく。	Α								
その他														

平成	23	年度	事務	事美	美評 征	哲シート	•		Ī	果名		勤	劳青少	キホー	-ム						No	1
11- htt.	レエ		j	「項目	1(政策	Ę)			ı		中項目(施策)				小	項目(基本	事業)		
施策位	本糸	11 多村	兼な働く	(場の	確保			2	労偅	動環境	の向上				4	勤労	'者福	祉の	推進			
事業	名	小野田	勤労青	青少 :	年ホー	-ム管理	事業															
予算費	費目-	款	5			労働費		IJ		1	小田子		動諸費 6青少年	+_/	目		2	_			ホーム	ム費
		細目	1	勤労	青少年	ホーム運	営業務	細点	マ目	1	小班		カラグサー 単運営費	ホーム	会	計種	別	_	般会	計		
_		分(根	処法令)		自治事剂	务	()	予算種	別	i	継続			経常	
1 PL		•	£ 1 \$ 1.1	<u> </u>	47 4t	TO 101	ı	AII	<u> </u>	<u> </u>	11. 2 . F	1 4 4	* F31				- Alle -	-1 <i>-</i>	·	1 1	ı	
						<mark>、現況)</mark> に基づ	#h #				<mark>対象・</mark> 目			<i>ا</i> ا	・主催					₹•手/l		
き、重	助労	青少年	の福祉	增達	進と顔	建全な育	<.	利用	でき	きる対	象年的	令を」	広げ、	主催			黄座			刃]住足	宇木	:
						勤労青									ク		ブ活動					
少年/	下一. 帆 公	ムを設 民館と	追。 ∶併設	(設し)	自当时持管	から、 理を行	つ。 的の	また為、	、ノ活重	-ツ、フ fが必要	く16:1 更な[版興寺 団体ま	の日たは	・貸館					,835, 160人			
う。う	う。近年では、勤労青少年(35歳未 個人に貸館業務を行う。また、利用 満)を取り巻く雇用環境の変化によ が安全、かつ快適に館利用ができる。																寺管理					
┃り、勤労青少年の利用は減少傾向にあ┃う、施設の維持整備を行う。																						
り、纟	り、条例第5条適用の特例使用が多い																					
	大況となっている。 (参考:高千帆公 民館 利用者数 27,164人)																					
氏館	利戶	用有致		_) 指標									成果	上							
				口到	1日1ホ							八木	1日1示						成果技の到達	指標		
利用者	皆数									者数										(B/.		
	Πŧ	票値(単	/ ⊹ \			実績値	()	-)			目標	古人	単位)			宇结	値B	(出た	,)			
	日作	示旭 (1女)			夫視旭	(早)	L)			日信1	旦A(.	甲型)	;	夫禎	[旧B	い中)	L)		91	.6	
	1	2,000人				10,9	95人				1	2,00	0				10,99	95				
<u> </u>	_																					%
2 D	<u> </u>																					
		歳出			予算	現額(円		夬算客					歳入			+	算現	額(円)	決	算額(円)
	勤党	青少年	ニホーノ	ℷ費		7,047,0	98	7,	,047,	,098			庫支出		()							
支出											財介源割	県	支 出		()							
内											内合	地			()							
訳											訳〜	そ	の	他	()		1	,458,	,135		1,45	8,135
												_	般 財	1112	()			5,588				8,963
	É	i i	†			7,047,0	98	7,	,047,	,098			合	計			7	7,047	,098		7,04	7,098
	件	費	概算	5	人工	数(人役) .	人件費	貴(円	3)												
	1+	貝	1794、 字	7-		0.	55	3,	,091,	,050												
3 CI	HEC	CK																				
			ļ	必	要	性		有	a	効	性		効		率	性		成 集	!指	標の	達瓦	戊 度
事務	事業の	の評価		Βи	必要性	がある		B 有	剪効怕	性が認	忍められ	る	B 効	率性	が認めら	5ħ.	る	B 根	祝ね目	標を達	成して	いる
A A 4) Tr	140																				
4 A(ا ا ا	UN	課				百						改			善善			,	<u></u>		
利用者	増加	、特に對		·年 <i>σ</i>	利用仍	足進を目打		<i>Et=</i> . ₹	利用	者が宏	利用老	がま		すい段	環境を整		利用和	者の地		• •	る。ま⊤	た、特
						D改修等			,		に勤労	青少	年が利	用しや	すいよう	えき	催講	座等(の充身	₹を図	る。	
													に情勢も 館利用									
											が明確	ぼでは	ないとの	の意見	も聞かれ	れる。	勤労	青少	年ホ-	-ムと		
											貼1升部	∠ C \ \	う現状に	_ ンしい	し、デー	及倾	らりひい	少安	<u>-</u> 有ス	る。		
事	事業の方向性(一次評価) 事業の方向性(二次評価)							
7						を進める				,	7		• • •		画どおり	_						,
٨			口凹	_ ഗ	/ 尹禾	ことはりで	ν <u>-</u> <u>-</u> .	, 心 二	1					ĒΙΙ	=1 C 42 %	/ 尹 >	⋆Cl	<u>-</u> ∪√	, <u> </u>	小. 加.	-	
Α											A	`										
											<u> </u>											
その作	也																					

平成23年度 事務事業評価シート									課名		苗九台	労青少年ホ	/.					No 2
一水	,23	十尺			E of im I (政策)	<u> </u>				 中項目(<u> </u>		/l\	項目(基本	事業	
施策值	本系	11 多村						2 労		の向上		,	4	勤党		祉の推進		,
事業	名	山陽勤	労青	少年	ホーム・	管理事	業											
		款	5		労	 働費		項	1			 動諸費		目	2	勤労書	小生	▼ホーム費
予算	費目-	細目	1	勤労	*青少年/		営業務			山陽	勤労	青少年ホーム 里運営費	`	会計		一般会		
事	務区	分(根:	加法令 処法令	î)	É	治事務	<u></u>	(日本)	予算	種別		継続		経常
1 PI												-						
			美が始	まった	-経緯、	現況)		事業の	内容(対象・目	的•	意図)			事業3	実施の手段	殳∙手	·順
												限ることを				推進事業	_,,	
												去げ、クラ スポーツ、	7	クラ		動 4クラ 利用者 1		3 1
					直して』 管理を1							へハーフ、 動場所が必		館事		611件 5,		
近年7	では	、勤労	青少年	年 (3	5歳未済	苗)を	要な	団体ま	たは	個人に	貸負	官業務を行	亍・施	設維	持管理	里事業		
取り巻く雇用環境の変化により、勤労う。また、利用者が安全、かつ快適に 青少年の利用は減少傾向にあり、条例館利用ができるよう、施設の維持整備																		
第5条適用の特例使用が多い状況とを行う。																		
なっている。																		
				活動	指 煙							成点	果指標					+ + + + +
				70 30	10.11							1907	*10.1x					成果指標 の到達度
利用者									利用者数									(B/A)
	目相	票値(単	位)			実績値	i(単位)		目標値	直A(単位)		実	績値B	(単位)		66.2
	1	1,000	人			7,27	79人			11,	000	人			7,279	人		%
2 D	<u> </u>	歳出			文 答 II	3岁五 / FTT	\ 24	快算額(ш			歳入			マ答፤	日郊 (川)	2+	佐妃/ 田)
	#1.25		- 1	, #		額(円					_					見額(円)	决	算額(円)
	劉ラ	片青少年	-不一.	ム質	3	3,513,17	/6	3,51	3,176	а.		庫支出金)				
支出										財会源割		支出金	()				
内										内合	地		()				
訳										訳〜	そ	の他	()		456,879		456,879
											_	般 財源	()		3,056,297		3,056,297
	í	合 言	+		(3)	3,513,1	76	3,51	3,176			슴 計				3,513,176		3,513,176
	111		Inv	h-h-	人工数	女(人役) J	人件費(円)									
人	件	費	概	算		1	.5	4,43	1,700									
3 CI	HF	?Κ						,	,									
		<i>3</i> 10		必	要	性		有	効	性		効	率	性		成果指	標(の達成度
事務	事業	の評価	C		<u>~~~</u> 生につい		か					C 効率性			計が			
					必要であ		173	B 有效]性が話	忍められ	る		要であ		1175	C あまり目:	標を調	達成していない
4 A	CTI	ON					•											
			課			是	頁					改		喜	Ė	:	策	
					利用促进								を開催し	八利	用者の	増加を図る	る。ま	た、休館日の
現在、上がっ			ヽ(火・	水曜E	3、祝日)	ことから	っ、利用	オーストリ.	不満か	* 変更を また /		する。 ∃勤労青少⁴	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	ጉ	統会に	ついて埣言	ነ ው ፡)、亜がねる
利用者	が安	全かつ			用できる。				麥。	5/-,	ויבינ	ーション ロン・	ii- Z		יו 🗀 טעה	- ~ · ~1天日	., 0, 5	و لا _ن رین ۱۸ کو ت
合併に	より	设置目的]が同-	-の施	設が2か	`所存在	してい	る。										
事	事業の方向性(一次評価) 事業の方向性(二次評価)																	
	事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要事業の抜本的な見直し又は休止・廃止の検討が必要																	
		7 KV	1X/11-1	الزحرر		10 kl/1T	, ,,,,,,,	- / (X D)	~ 2.3			于 木 V 7 1 X /	ישיר אין.	/ 世	J	一元 元		NII / 20 X
C	,									C								
その作	也																	